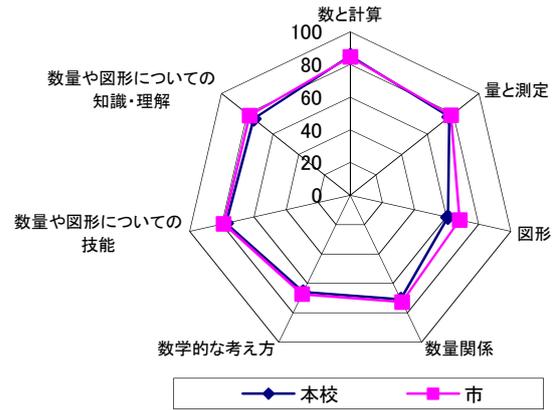


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	85.4	84.6
	量と測定	76.9	78.3
	図形	60.9	68.2
	数量関係	70.9	72.6
観点別	数学的な考え方	65.9	67.3
	数量や図形についての技能	77.4	78.9
	数量や図形についての知識・理解	75.0	78.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、85.4%と市の平均正答率を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎力を付けることを重視したぐんぐんタイムやチャレンジテストへの取り組みが効果的だったと考えられる。今後も、継続指導して、更に効果的な指導を工夫していく。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、76.9%と市の平均正答率78.3%を下回った。速さでは、道のりを求める問題は市の平均を上回っているが、時速・分速など速さを求める問題は、市の平均を下回っているという、同じ内容の中で定着に差が見られる。これと同様の傾向が、面積と体積でも見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に、定着が不確かだった「速さ」「三角形の面積・体積」に関する復習に重点を置いて指導し、定着化を図る。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、60.9%と市の平均正答率を下回った。特に、多角形の作図、円の半径・直径との関係について正しく理解できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 多角形や円の定義を復習し、作図、面積、体積の練習問題で適応の仕方を確認しながら定着を図る。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、70.9%と市の平均正答率を下回った。特に、2つの文字を使った文字の式で、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字式の作り方から復習し、文字が何を表しているか理解できるようにして、練習問題に取り組みせ、定着を図る。